

きらり四日市人

世界最高峰の美容大会で6位入賞
「ラ・モード・シム」美容師

森本五月さん(左)・窪西早紀さん(中央)
中村麻美さん(右)



昨年10月、約50カ国が参加しパリで開催された「世界理美容技術選手権大会」に、日本代表としてチームで出場した森本さん、窪西さん、中村さん。ヨーロッパ王侯貴族の社交界を思わせる髪型を表現する部門に、日本人として初挑戦し6位を獲得しました。権威ある大会で受賞した3人に、困難や喜び、これからの抱負などをお聞きしました。

華やかな社交界を思わせる髪型に初挑戦

中村さん：私たちが出場したのは、日本人には難しいとされてきた「プレステージ」部門です。洋装アップで、社交界の晩餐会などで披露する髪型をデザインするものです。欧米とは歴史や文化が違うので表現が難しく、長く敬遠されてきたのですが、国際化の時代、新たな発想を取

り入れ、美容界に風穴を開けようと思い挑戦しました。技術披露したのは、舞踏会の世界を連想させる妖艶な「ガラ」と、華やかで愛らしい「ウエディング」の2つのデザインで、3人による6作品の合計得点で6位入賞が決まりました。

斬新なデザインが評価された

森本さん：特に「ガラ」のデザインは、中世フランス・マリーアントワネット時代にドレスアップした際の髪型をイメージしたものです。女性の美しさを最大限に引き出すため、クラシックを基調にしながらも現代風にアレンジし、3人で考案しました。大会ではヨーロッパの作品とは異なるその斬新さが評価されたようです。

厳しいトレーニングを経て得た力

窪西さん：半年前から本格的にトレーニングを始めました。就業前後の練習、休日も返上して、繰り返し技術を磨きました。くじけそうなこともあったのですが、3人で励まし合い、それぞれが持てる力を発揮できたからこそ、得られた結果だと思います。

磨いた技術を還元していきたい

中村さん：さまざまなサポートがあり、多くのお客様にも応援してもらったことに感謝しています。磨いた技術を多くの人に還元していきたいです。

森本さん：受賞はうれしかったけれど、もっと上を目指したい気持ちが残りました。また挑戦したいと思います。

窪西さん：海外のレベルを知り、さらに技術を高めたい気持ちになりました。



斬新さが評価された「ガラ」の髪型デザイン



パリでの選手権大会



受賞した「ガラ」(上)と「ウエディング」(下)作品

1月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)